

令和7年度 標茶町立中茶安別中学校 学力向上計画

1 生徒の実態

【令和6年度 標茶町標準学力調査より】

教科	国語			社会			数学			理科			英語		
	知 ・ 技	思 判 的	主 体的												
観 点															
中学1年生（新中学2年生）	≒	≒	≒	≒	≒	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	≒	△	▼
中学2年生（新中学3年生）	▼	▼	▼	≒	≒	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	≒	▼

△：目標値を上回っている
≒：目標値と同程度
▼：目標値を下回っている

△良い点

- ・新中2は、国語・社会・英語が目標値と同程度であり、観点別では英語の「知識・技能」が目標値を上回っている。
- ・新中3は、社会が目標値と同程度であり、観点別では社会・英語の「知識・技能」が目標値と同程度である。
- ・各教科の基本的な知識・技能は比較的身につけてきている。また、聞いたり読んだりする力(インプット)は比較的ついてきている。

▲課題

- ・新中2・中3ともに、数学・理科において、目標値を大きく下回っている。
- ・どの教科においても、問題文や資料を読み取ってまとめたり、どんなことが言えるかを記述したりする力に課題がある。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」の観点が目標準を下回っている教科が多い。

【令和6年度 全国学力・学習状況調査より】

国語	△情報間の関係や文の成分の順序などについて理解している。 ▼話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに課題がある。
数学	△基本的な計算や図形に関する知識については定着しており、グラフの特徴を事象に即して解釈することができる。 ▼目的に応じて式を変形したり、数学的な表現で説明したり、筋道立てて証明したりすることに課題がある。
全体	問題文や資料から読み取った情報を整理したり分析したりする力は定着してきているが、そこからわかったことや自分の考えを書いたり説明したりする力（アウトプット）が弱い。

2 目標

【標茶町標準学力調査】

全学年・全教科の各観点の正答率を、目標値と同程度以上とする。特に、目標値を下回ることが多い「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点や、活用・記述の問題の正答率向上を目指す。

【全国学力・学習状況調査】

正答率の低かった問題について把握・分析し、授業改善を図り、正答率の向上を目指す。

3 改善方策

授 業	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科における基礎基本の確実な定着 ・研究主題『主体的に学び続ける子どもの育成』を意識した授業づくり ・「考えをまとめて記述する」「説明する」などの表現力の向上を意識した授業づくり ・ICTの効果的な活用(デジタル教科書、スマイルドリル、ロイロノート、Googleクラスルーム…など)
授業以外	<ul style="list-style-type: none"> ・標茶町標準学力調査の結果分析 ・チャレンジテスト(サポート問題含む)の活用 ・『家庭学習の手引き』や計画表の活用を通じた家庭学習の充実
連 携 (研修,小学校,家庭)	<ul style="list-style-type: none"> ・『家庭学習9ヶ年計画』に基づいた取り組み ・小中9年間を見通した校内研修の取り組み

4 実施計画

	授 業	授 業 以 外	連 携 (研修, 小学校, 家庭)
4 月	・授業開きオリエンテーション	・計画的な家庭学習の取り組み開始(通年) ・チャレンジテスト(前年度問題・サポート問題) ・必要に応じた学習支援(通年) ・朝読書(通年)	・授業参観, 保護者懇談会 ・『家庭学習9ヶ年計画』『家庭学習の手引き』の配付・説明
5 月			・全体研修(授業づくりにおける共通理解)
6 月	・1人1授業(～12月末)		・学校サポートプラン
7 月		・チャレンジテスト(1学期末問題・サポート問題) ・夏季休業中の学習会	・授業参観, 保護者懇談会
8 月		・全国学力・学習状況調査の結果分析 ・学力向上計画の見直し①	・校内授業研①事前研
9 月			
10 月	・校内授業研①		・校内授業研①事後研 ・校内授業研②事前研
11 月	・校内授業研②		・校内授業②事後研
12 月		・チャレンジテスト(2学期末問題・サポート問題) ・標茶町標準学力調査 ・冬季休業中の学習会	・授業参観, 保護者懇談会
1 月			・全体研修(研究主題・仮説の検証)
2 月		・標茶町標準学力調査の結果分析 ・学力向上計画の見直し②	・授業参観, 保護者懇談会 ・全体研修(今年度の振り返り, 成果と課題) ・標茶町標準学力調査の分析結果の保護者配付
3 月	・授業改善計画		

5 評価方法

- 全国学力・学習状況調査の結果が屈次第、成果とその理由を分析して、課題を改善する授業を構築し、次年度の目標を設定して評価する。
- 標茶町標準学力調査後に中間評価を行い、実施状況や課題と解決策を探る。